

## 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成20年10月17日(金) 授業Ⅱ

児 童 男子12名 女子8名 計20名

授業者 小原 和弘

- 1 単元名 くらべてよもう  
教材名 「じどう車くらべ」

### 2 教材について

#### (1) 児童の実態

児童は「うたにあわせて あいうえお」で語のまとまりや言葉の響きなどに注意して声に出して読むこと、「はなの みち」では場面の様子について想像を広げながら読むことを学習してきた。ほとんどの児童は内容をすぐ理解することができたが、ひろい読みの状態の児童は短い文章であっても内容をなかなか理解することができなかつた。また、入学して初めての説明文「いろいろなくちばし」では、説明されている事柄を正確に読み取れることを学ぶとともに、説明文の基本的なパターンである「問い→答え」と、その文型を学習した。文型を繰り返し押さえることで、ほとんどの児童は問いと答えの文を理解できるようになっている。また、挿絵と文章を照応させて読む学習をすることにより、内容の大体をとらえられるようになってきた。

音読はすらすら読める子がほとんどであるが、拾い読みの状態の児童も数名見られる。

語彙力についても個人差が大きい。語彙の豊富な子は言葉の置き換えができたりするが、友達の話の聞いたり説明を聞いたりしても、深まりに欠ける子も見られる。

#### (2) 教材について

本教材は、この時期の児童の興味・関心の対象として代表的なものの一つ、自動車を取り上げた説明文である。児童の好きな題材を取り上げ、主体的な理解・表現活動を促す教材構成であるといえる。

前説明文教材「いろいろなくちばし」では、説明されている事柄を正確に読み取れることを学ぶとともに、「問い→答え」という説明文の基本的なパターンを学習した。本教材では、この学習を踏まえて題材に自動車を取り上げ、その説明の仕方は、「話題・問題提起→問題に対する説明」を、自動車の「しごと」と「つくり」という2つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。「しごと」と「つくり」に着目して読むというように、読みのねらいを明確にして読むことができる教材である。

この教材の学習を通して、楽しい説明文の読みを体得すると同時に、確かな言語能力を身に付けさせたいと考える。

#### (3) 指導にあたって

本教材の文章は、それぞれの自動車がどんな「しごと」をしているか、そのためにどんな「つくり」になっているかを読者に問いかけ、読み取りの視点を明らかにしている。その視点を常に意識させながら、それぞれの自動車の説明が「しごと」についてと「つくり」についてのまとまりから構成されていることに気付かせたい。そして3種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体を読み取らせていきたい。その際、サイドラインを引く活動を取り入れたり、音読や動作化をさせたり、挿絵と文章を照応させたりしながら、内容についての理解を深めていきたい。

また、他の乗り物の本などにも興味を持ち、図書館や学級文庫などで好きな自動車の本を探し、学習した教材文を参考にして、簡単な文の組み立てを考え、探した自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文を書けるように支援していきたい。

### 3 指導目標

#### 【関心・意欲・態度】

○自動車の仕事と作りの関係に興味を持って読み、ほかの自動車を説明する文章を書こうとする。

#### 【書くこと】

○教材文を参考にし、簡単な組み立てを考えて好きな自動車の仕事と作りを説明する文を書くことができる。(書く ウ)

#### 【読むこと】

◎3種類の自動車について、仕事と作りの関係を考えながら内容の大体をつかむことができる。(読む イ)

◎語や文としてのまとまりを考えながら、声に出して読むことができる。(読む エ)

#### 【言語事項】

○片仮名で書く語を読んだり書いたりすることができる。(言語事項 イ(ア))

### 4 単元指導計画【全11時間】

段階	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準
つかむ	1	全文を通読し、働く自動車に興味を持つ。	知っている自動車についてたくさん発表させる。	いろいろな自動車が働いていることをつかみ、自分が知っていることを発表しようとしている。
	1	新出漢字と片仮名の正しい筆順を覚え、読んだり書いたりする。	筆順と字形に気を付けて書かせる。	新出漢字や片仮名を読んだり書いたりしている。
	1	おおまかな内容をつかみ、学習の見通しを持つ。	段落ごとに書かれている内容の大体を読み取らせる。	おおまかな内容をつかんでいる。
ふかめる	1	これから自動車の「しごと」と「つくり」について学習していくことを読み取り、読みの視点をつかむ。	問題提起の内容を把握させ、これから自動車の何について学習していけばよいのかを読み取らせる。	読みの視点(しごと・つくり)を読み取っている。
	1	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取る。	バスや乗用車はどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているかを読み取らせる。	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」について読み取っている。
	1	トラックの「しごと」と「つくり」について読み取る。	トラックはどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているかを読み取らせる。	トラックの「しごと」と「つくり」について読み取っている。

4	1 本時	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取る。	クレーン車はどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているかを読み取らせる。	クレーン車の「しごと」と「つくり」について読み取っている。
ま	1	教科書の挿絵を見ながら、はしご車の「しごと」と「つくり」について説明する文を書く。	今までの学習を振り返りながら、はしご車はどんな「しごと」をし、どんな「つくり」になっているのか説明する文を書かせる。	はしご車の「しごと」と「つくり」について自分なりに説明する文を書いている。
め	1	自動車の本を探して読み、その自動車の「しごと」と「つくり」について書いてみたい自動車を選ぶ。	自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」に気付かせるよう、支援する。	自動車の本を探して読み、自分が書いてみたい自動車を選んでいる。
	1	自分が選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について、説明する文や絵をかく。	教科書の文を参考にさせ、分かりやすくなるように書かせる。	選んだ自動車の「しごと」と「つくり」について、自分なりに説明する文や絵をかいている。
4	1	自分が選んで書いた自動車の仕事と作りについて発表する。	書いた文をゆっくりはっきり大きな声で発表させる。	書いた文をゆっくりはっきり大きな声で発表している。

## 5 本時の指導

### (1) 目標

クレーン車がどんな仕事をし、そのためにどんな作りになっているか読み取ることができる。

### (2) 授業の視点

- ・「しごと」「そのために」という言葉が課題解決のヒントになることを押さえる。
- ・クレーン車の仕事や作りを確かに読み取るために、サイドラインを引いたり、挿絵と文を照応させたりする。

### (3) 展開

段階	学習活動	教師の働きかけ(・) 児童の反応(→)	指導上の留意点
つかむ	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前の時間学習した段落を音読しましょう。(一斉読み)</li> <li>・トラックはどんな仕事をしていましたか。 →にもつをはこぶしごと。</li> <li>・トラックはどんな作りになっていましたか。 →ひろいにだいがある。 →タイヤがたくさんついている。</li> </ul>	・音読により前時の学習を想起させる。
5分	2 学習課題を把握する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           クレーン車は、どんなしごとをしていますか。            そのために、どんなつくりになっていますか。         </div>	

<p>ふ か め る</p> <p>35 分</p>	<p>3 学習場面を音読する。</p> <p>4 詳しく読み取る。</p> <p>(1)クレーン車は、どんな仕事をする車か読み取る。</p> <p>(2)クレーン車は、どんな作りになっているか読み取る。</p> <p>(3)学習したことをノートにまとめる。</p>	<p>・声の大きさや口の形に気をつけて、はっきり読みましょう。(一斉読み・指名読み)</p> <p>・「しごと」「そのために」という言葉を○で囲みましょう。</p> <p>・クレーン車はどんな仕事をしていますか。サイドラインを引きましょう。 →おもいものをつりあげるしごと。</p> <p>・クレーン車はどんな作りになっていますか。サイドラインを引きましょう。 →じょうぶなうでがのびたりうごいたりする。 →車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついている。</p> <p>・どうして「じょうぶなうで」がついているのかな。 →おもいものをつりあげるから。</p> <p>・どうして「しっかりしたあし」がついているのかな。 →車たいがかたむかないようにするため。</p> <p>・今日学習したことをノートに書きましょう。</p>	<p>・「しごと」「そのために」という言葉が課題解決のヒントになることを押さえる。</p> <p>・「つりあげる」という様子がどういうことなのか確認する。</p> <p>・「うで」「あし」とはどの部分なのか、挿絵を見て確かめる。</p> <p>・「車たい」「かたむく」という言葉の意味を確認する。</p> <p>・「じょうぶなうで」と「しっかりしたあし」がついていることを読み取らせる。</p> <p>・「～たり～たり」の使い方を確認する。</p> <p>・正しくていねいに書かせる。</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 次時の予告をする。</p>	<p>・学習したことを考えながら読みましょう。(一斉読み)</p>	

具体の評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する子への支援
クレーン車がどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているのか、両方を正確に読み取っている。	クレーン車がどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているか、大体読み取っている。	「しごと」という言葉の前にどんな仕事をするのか、「そのために」という言葉の後にどんな作りになっているのかが書いてあることを支援する。

(4) 板書計画

挿絵

①しごと  
おもいものをつりあげるしごと

②つくり  
・じょうぶなうでが、のびたりうごいたりする。  
・しっかりしたあしがついている。

じどう車くわん